

数値目標	H28.3末値	直近実績値	左値の説明	分野	KPI	基準値	目標値(H31)	H28.3末値	直近実績値	左値の説明	具体的事業	左の進捗状況	左の説明		
基本目標1 魅力ある「しごと」の機会を創出し、社会動態の改善を目指す	①有効求人倍率:全国平均並み	1.22	1.11	農業支援	紅秀峰栽培面積	40ha(平成26年度)	55ha	43.16ha	43.38ha	H28.9時点では苗木購入への助成が1件だが秋期の要望が多数見込まれる。	・さくらんぼ労働力の確保(収穫期における若手短期労働者向け賃金の補助など)	○	さくらんぼ箱詰め研修会、さくらんぼボーナスによる従事者への報奨、さくらんぼ作業体験事業による学生ボランティアの受け入れ、さくらんぼオーナー制による収穫作業の軽減など新たに4つの施策を実施した。		
	②今後5年間の社会減改善数:242人(累計)今後5年間の社会減△158人	-140	-113		つや姫ヴィラージュ面積	40ha(平成27年度)	80ha	39.6ha(H27)	46ha(H28)	H28は、H27より従業員数が2名と2回増え面積が拡大した。(現在28名と3団体)	・つや姫ヴィラージュの市内各地区への拡大	○	面積は増加しているが、今後更に生産面積を拡大し、つや姫のブランド化を推進する。		
					研修受入農業経営体数	3経営体(平成27年度)	6経営体	4経営体	4経営体	1経営体が認定された。	・紅秀峰・つや姫の販路拡大支援(輸出を含む)	○	・紅秀峰 トップセールスの継続と輸出量の増加を行った。 ・つや姫 ヴィラージュ産米の販路拡大(銀座三越でのフェア、ミラノ万博でのPRなど)		
					新規就農者数	53人(累計:平成22年~26年)	70人(累計:平成27年~31年)	13人	15人	2名の新規就農者を認定した。	・地域伝統野菜(子姫芋など)や枝豆などの生産体制の強化(組織化及び組織強化等)	○	・子姫芋 組合にて販促用のラベル等を作成した。 ・もって菊 商品開発研修及び試作品の試験販売を実施した。 今後、伝統野菜の生産組織が行う商品開発などへの支援を行う。		
											・継続的な生産を支え、作業効率化などを図る設備への支援(高所作業車や雨よけテントなどの設備投資の補助など)	○	TPP対策として産地の強みを活かした競争力を図るため、国が行う産地パワーアップ支援事業(H28)により86棟(302a)のさくらんぼ雨よけテントの設置を支援を行う。		
											・後継者への円滑な経営移譲の支援	△	担い手の会を通じて後継者の育成に努めている。		
											・新規就農者の受入れ体制の拡大(受入農業経営者への支援など)	○	農業委員会総会や認定農業者協議会、新規就農者支援育成協議会の会議等で説明を行い、受入農家の拡大を図っている。		
											・新規就農者(Uターン者などを含む)の確保等の強化	○	新・農業人フェア、ふるさと回帰フェア、やまがたハッピーライフカフェに出展するなど強化を図っている。		
											・農地集積・集約に向けた農地の流動化の促進(農地中間管理事業の促進など)	○	農地の賃貸借契約更新の際に農地中間管理事業を利用するよう呼びかけをし、農地集積・集約化に努めている。		
											・6次産業化に向けた組織設立や地産地消の促進など地域内流通等を強化する取組	△	・学校給食を通じた地産地消の食育を推進した。 ・たしろ亭などの地域づくり活動と一体的な地産地消の推進した。		
						企業支援・企業誘致	国・県の制度(人材確保・育成、技術開発、設備投資、販路開拓)を活用した寒河江市内の企業数	93件(平成26年度)	115件(平成31年度)	149件	71件	H28.9までの認定数	・企業支援ニーズ発掘調査及び支援情報の発信(企業訪問、説明会、メーリングリスト発信など)	○	企業訪問(累計383件)による支援ニーズ調査及び支援情報発信(説明会の開催等)の実施した。
							地域再生計画の策定	-	策定(平成27年度中)	平成27年11月策定済			・地域資源等を活用した新事業への支援(国・県事業との連携など)	○	ニト産業の1社が東北経済産業局の事業認定を受け販売を実施中。
							製造品出荷額及び製造業従業者数	製造品出荷額 1,438億円 従業者数 5,494人	製造品出荷額 年間1,600億円 従業者数 5,620人	製造品出荷額 1,475億円 従業者数 5,454人	製造品出荷額 1,497億円 従業者数 5,448人	H29.3の予測値	・企業誘致・定着の促進(地域再生計画の策定、工業団地の拡張に係る可能性調査の実施)	○	地域再生計画はH27.11に策定済、工業団地拡張調査は実施中。
							工業団地の立地企業数及び従業者数	企業数 82社 従業者数 4,074人	企業 90社 従業者数 4,200人	企業80社 従業者数 4,049人	企業84社 従業者数 4,063人	H29.3の予測値			
						創業支援	創業支援事業計画の策定	-	策定(平成27年度中)	平成27年10月策定済			・金融機関・商工会及び市が一体となった創業支援体制の整備(創業支援事業計画の策定、相談窓口の設置・セミナーの開催、空き店舗等を活用した開業への補助など)	○	H27.10東北経済産業局より創業支援事業計画の認定を受けた。創業セミナーを2回開催 空き店舗対策補助9件
					創業支援対象者数及び創業者数(第2創業含む)	- ※商工会を通じた創業支援8件(平成26年度)	対象者数 120人 創業者数 42人	対象者数 160人 創業者数 21人	対象者数 110人 創業者数 5人	支援機関報告による	・創業後のきめ細やかな支援(専門家による個別経営指導や地元ネットワークづくりの助成など)	○	起業創業支援委託8件 創業者ビジネスネットワーク構築支援委託H27.10		
を基 本 目 標 2 地 域 の 資 源 を 磨 い て 魅 力 を 発 信 す る こ と で 交 流 人 口 及 び 定 住 ・ 移 住 人 口 増	①寒河江市を訪れた観光客数:353万人	359万人	164万人	観光振興	観光客数	343万人(平成26年度)	観光客数 353万人(平成31年度)	359万人	164万人	H28.4~H28.6の実績	・新たな観光資源の発掘・整備(慈恩寺やチェリーランドにおける観光客の受け皿整備など)	○	慈恩寺において、駐車場及びトイレ(H28.2)、案内看板(H27.9)、寒河江駅への観光案内所設置、駅周辺の観光拠点整備への助成、葉山市民荘トイレの24時間化等の受入体制の強化を図った。		
	②今後5年間の社会減改善数:242人(累計)今後5年間の社会減△158人	-140	-113		宿泊者数	3.6万人(平成24~26年度平均)	5万人	5.4万人	1.9万人	H28.4~H28.7の実績	・西村山などにおける広域観光の連携強化(西村山DMO※の活用や観光ルートの開発など)	○	山形どまんか探訪プロジェクト会議において、西村山広域観光戦略推進事業を実施した。今年度も事業推進を継続する。		
					外国人観光客数	約1,500人	2,500人	2,250人		-	・訪日外国人の受入体制の整備(無料公衆無線LAN整備や消費税免税店に係る支援など)	△	観光パンフレットの多言語化、ボランティアガイドの外国人おもてなし研修などを行い、受入体制の強化を図った。 朝日町と連携しプロモーションを目的とした台湾のテレビ番組を製作する。 12月に台湾でプロモーションイベント開催予定している。		
					観光物産協会等のホームページアクセス数	7.2万回	8万回	10.5万回	5.5万回	H28.4~H28.8の実績	・冬の新たなシンボルイベントなどの四季それぞれの集客力あるイベントの開催	○	やまがた雪フェスティバルを開催(H28.1)し、今年度も実施予定(H29.2)。 ふるさと公園でストライダーエンジョイカップ(H28.7)、スポーツ流鏑馬競技大会東北大会(H28.9)を初開催した。		
					イベント域外参加率	83%	85%以上	80.60%	83.70%	H28.4~H28.7の実績	・戦略的な観光振興の実施(寒河江市観光振興戦略の策定など)	○	平成28年度中に策定予定		
					観光振興戦略の策定	-	策定(平成28年度中)	-	-	-					
						移住・定住支援	移住交流ポータルサイト等のアクセス数	-	1万回	3,902	2,734	H28.9.11現在	・移住支援体制の整備(移住希望者向けの相談窓口の設置やハローワークとの連携など)	○	移住相談窓口設置した。(H27.8) ハローワークとの協定を行った。(H27.8)
							移住相談件数	-	250件(累計:平成27~31年度)	89	82	H28.9.13現在	・Uターン子育て世代向けへの家賃補助などの移住定住に向けた住宅支援	○	定住促進賃貸住宅家賃助成事業補助金をH28.1月から開始した(7件)。 子育て定住住宅建築事業は拡大継続した(71件)。
							U・I・Jターン住宅支援件数	20件(累計:平成24~26年度)	150件(累計:平成27~31年度)	73	78	9/9時点の件数	・戦略的な魅力発信(シティプロモーション戦略の策定や移住・交流ポータルサイトの開設など)	○	平成28年度中に戦略策定予定 ポータルサイト開設予定
							シティプロモーション戦略の策定	-	策定(平成27年度中)	未	未		・仙台をはじめとする大都市とのネットワーク構築・強化(ふるさと納税などにより寒河江に縁ができた方を対象とした寒河江ファンクラブの創設や寒河江出身者等の会との連携強化など)	○	H28.3ふるさと納税者等を対象とした山形どまんか観光物産祭りを開催した。 仙台寒河江会の会員数増。(現在会員数590名)
											・地域おこし協力隊の積極的受入	○	平成28年度3名増員した。 (NPO支援、伝統工芸発信、創業支援)		

改善策基本目標を充実に指し示す、結婚・出生率・産出・子育てを向上させ、希望を持てる	数値目標	H28.3末値	直近実績値	左値の説明	分野	KPI	基準値	目標値(H31)	H28.3末値	直近実績値	左値の説明	具体的事業	左の進捗状況	左の説明	
	①合計特殊出生率:1.7人	-	1.48	H26.1~12人口動態統計		結婚・出産・子育て支援	婚姻率	4.4(平成25年度)	5	4.3(平成26年度)	-		・結婚活動への支援(婚活コーディネーターや結婚支援活動団体への支援など)	○	結婚支援活動を行う団体へ婚活イベントなどの開催費を助成した。(H27年度 2件) H28.10結婚新生活支援事業を開始予定。
	②出生数:平成31年度 320人	-	328	H27.1~12の出生数	結婚・出産・子育て支援	山形いきいき子育て応援企業数	34社(平成26年度)	50社	37社	37社	H28.7までの認定数	・妊娠から子育てまでの切れ目のないソフト支援(さがえ型ネウボラ※や子育て支援ガイドブックの作成・配布など)	○	子育て世代包括支援センターを設置し、母子保健コーディネーターを配置することにより、妊娠期からの相談支援を強化した。子育て支援ガイドブックを作成し、保育所・幼稚園等に配布した。	
						子育て支援に満足している方の割合	ー ※子育て支援に不満に思わない割合 63.7%(就学前児童保護者に限る)	70%以上	-	-	H31までに意向調査予定	・子ども・子育て世代への経済的支援の強化(ロタウイルスワクチンなどの任意予防接種費用助成、奨学金返還支援制度、第3子以降の保育料無料化など)	○	おたふくかぜ、幼児インフルエンザ、ロタウイルス、B型肝炎の任意予防接種費用を一部助成を開始した。 H28から第3子以降の保育料無料化の対象を小6以下から高3以下に拡大した。 奨学金返還支援事業スタート。(計19名を支援)	
													・子ども・子育てインフラの充実化(保育施設及び公園など)	○	寒河江第二幼稚園の認定こども園移行を支援し、本年4月に開所した。 市立にしね保育所の増員に向けた増築工事を実施した。 放課後児童クラブについては、昨年度、第三わんぱくクラブを新築移転した。 最上川ふるさと公園内にさがえっこ冒険ファンタジーランドを整備した。
共通目標					まちづくり							・働く女性への支援(働く女性応援プランの策定など)	○	女性が輝く職場づくり推進セミナーを開催した。(H28.8) 女性管理職向けセミナーを開催予定(H28.10・12) 第2次男女共同参画計画(女性活躍推進計画含む)を策定予定。(H28年度中)	
						住みやすさに関する満足度	73%(平成26年)	80%以上	-	-	H31までに意向調査予定	・都市計画マスタープランの全体構想と連動したまちづくりの推進(住宅団地の造成の検討など)	○	都市計画マスタープラン策定予定(H28年度内) 検討経過(都市計画審議会6回、現地視察1回)	
													・中心市街地の活性化(中心市街地活性化計画の策定など)	△	若手経営者などによるまちづくり勉強会にて研修 中心市街地の活性化を目的として、よりよい方策を検討中
													・空き家空き店舗の活用や克雪の観点を踏まえたまちづくりの推進	○	都市計画マスタープランにおいて克雪の観点を包含した計画を策定予定。
												・生活サービスを効率的に提供するネットワーク(公共交通等)や地域の拠点づくり	○	H28.1から市内循環バス実証運行実施。H28.12から本格運行予定。 旧田代小学校校利活用による地域の拠点づくり	

※事業毎の進捗状況: ○→平成28年度中に実施見込 △→平成28年度中の実施は難しいが、実施に向けた準備活動中 ×→実施見通しなし